

# 様々な視点から生徒自らが 課題発見・解決を目指した体育授業



北海道札幌月寒高等学校 教諭 丸山 真望

令和6年度 第62回北海道高等学校教育研究大会教科部会  
会場：北海きたえーる  
令和7年1月9日（木）保健体育部会

# 1 本日の発表内容

## ■ はじめに ～ 実践の背景 ～

- (1) 自己紹介
- (2) 勤務校の概要
- (3) 過去の研修の機会

## ■ 生徒自らが課題発見・解決を目指した「体育」授業

- (1) GoogleClassroomを活用したフィードバック【知識・技能】
- (2) 学習指導要領を踏まえた技能テスト内容の検討【知識・技能】
- (3) 視覚的教具を用いたグループ学習【思考・判断・表現】
- (4) 探究的グループ学習【思考・判断・表現】
- (5) 相互評価を通じた協働的な学び【主体的な態度(略)】
- (6) 課題解決に向けた協働的な学び～事前事後の比較から～  
【技能及び主体的な態度(略)】

## ■ ICTを用いた「保健」単元テスト(参考)

## ■ まとめ

## 2 はじめに ～ 実践の背景 ～

### (1) 自己紹介

①平成22年4月～平成29年3月  
北海道斜里高等学校【総合学科】勤務(3間口)  
※平成27年2間口完成



②平成29年4月～令和6年3月  
北海道留萌高等学校【電建・情報・普通の3学科】勤務(5間口)  
※平成30年北海道留萌高等学校(4間口)と北海道留萌千望  
高等学校(2間口)が統合

③令和6年4月～  
北海道札幌月寒高等学校  
【普通科】勤務(8間口)



# 2 はじめに ～ 実践の背景 ～



## (2) 勤務校の概要

北海道札幌月寒高等学校

創立:昭和24年(1949年)

校訓:「自主・自立」「親和・協力」

令和5年3月卒業生進路:国公立合格者(道内94名、道外54名)

年齢構成								
20-35	36-40	41-45	46-50	51-55	56-60	61-65	平均	
0	1	4	19	19	12	5	52.6	
教員経験年数								
1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31-35	36-40	平均
0	0	4	5	11	15	14	11	28
本校勤務年数								
1-3	4-6	7-9	10-12	13-15	16-	平均		
33	10	8	7	1	1	4.9		

## 2 はじめに ～ 実践の背景 ～

### (3) 過去の研修の機会

- ・初任校時代:授業づくりの試行錯誤はしていたものの教師主導型の授業が中心だった。
- ・2校目時代:学習指導要領の改訂時期となり、自身の授業について見直す機会を多々頂き、研鑽を積む。
  - ①道北ブロック授業改善セミナー講師【体育理論】(令和元年)
  - ②国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業【保健分野】(令和2年) ⇒ 新型コロナウイルスで中止  
⇒地域教職員研修促進費に係る地域連携研修 発表
  - ③道北ブロック授業改善セミナー講師【保健分野】(令和2年)
  - ④道北ブロック授業改善セミナー講師【体育分野】(令和5年)

## 2 はじめに ～ 実践の背景 ～

### (3) 過去の研修の機会

・現在:1年目

1年生男子3単位、1年生女子3単位  
2年生男子2単位、3年生 4単位  
1年生保健2単位

を担当

他の体育科の先生方と調和を図りながら、生徒の状況を見ながら、手探り状態で1年目が終わろうとしている。

実践らしい実践は、特段できていない。  
本日は、過去の実践を発表します。

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## 体育「知識・技能」の評価

- 学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価
- 既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価。

### 指導と評価のポイント

知識と技能の関連を図りながら指導を充実した上で、知識と技能それぞれの学習状況を生徒にフィードバックできるようにすることが大切。

### 評価機会と評価方法

「知識」の評価は、主に学習カード等に記述された内容から評価の材料を得る場合が多いことから、指導から期間を置かず評価することが考えられる。さらに、生徒の発言等の観察評価によって得られた評価の材料を加味して評価の妥当性、信頼性等を高める工夫をすることが考えられる。

「技能」の評価は、技能の獲得、向上に一定の学習期間が必要となること、主に観察評価によって評価を行うことから、指導後に一定の学習期間及び評価期間を設けるなどのことが考えられる。

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (1) GoogleClassroomを活用したフィードバック 【知識・技能】

メンバー	採点
	R5 ゴール型：バスケットボール概要（予...
	【ソフトテニス】単元まとめシート
	【ソフトテニス】ゲーム形式振り返りシート
	【ソフトテニス】振り返りシート
	R5 ネット型：ソフトテニス概要（予定）
	R5 バレーボール単元まとめ
	R5 ネット型：バレーボール概要（予定）

### ①概要を生徒に提示

- ・単元の目標
- ・単元計画
- ・評価規準
- ・技能テスト内容

### ②授業振り返りシート

※内容は単元によって様々

### ③単元のまとめ

※知識、思表、主体の内容が垣間見られるようなもの



# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (1) GoogleClassroomを活用したフィードバック 【知識・技能】

令和5年	12	月	14	日	2	校時	作品づくり練習③	
①	自己評価	技：緩急のある動きで身体を大きく使い踊ることができたか？					2	~3(できた) 2 (まあできた) 1(で きなかった)で評価す ること
		思：互いの表現の仕方について改善したり、修正することができたか？					2	
		主：主体的積極的に恥ずかしがらず取り組むことができたか？					3	
②	グループ内でどんな課題があり、どんな解決方法を選択し、その結果どうだったのか記入しなさい		Aグループ→Bグループに入れ替わるとき、つながが不自然になってしまったり、リズムがズレてしまることがあった					
			→今まで踊っていたダンスに少し修正を加え、入れ替えの間の空白の拍に合うようアレンジを加えた動画を取って見直して、踊っている本人もダンスの修正点やフォーメーションの形などを確認した →しっかり拍合わせることで、入れ替わりがスムーズになった。不自然なところもなく、自然にバトンタッチができた 足と運動した腕の動きや、リズムの乗り方を修正してよりダンスの完成度を上げることができた					

校時	基本ボール操作

令和5年		月		日		校時	作品づくり練習⑤
①	自己評価	技：緩急のある動きで身体を大きく使い踊ることができたか？					~3(できた) 2 (まあできた) 1(で きなかった)で評価す ること
		思：互いの表現の仕方について改善したり、修正することができたか？					
		主：主体的積極的に恥ずかしがらず取り組むことができたか？					
②	グループ内でどんな課題があり、どんな解決方法を選択し、						

校時	3対2の攻防

41	①	テーマである 「空間を作り出す動き」 「空間を利用する動き」は
42		
43		

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (1) GoogleClassroomを活用したフィードバック 【知識・技能】

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予め生徒に計画及び内容を伝えることができるため、全体像や最終的なゴールを見据えながら授業を進めることができる。</li><li>・ 授業で伝えている内容等を生徒の記述で確認することができるため、理解度が見える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予め評価規準について一定のラインを引いておかなければ、評価に困る。</li><li>・ 単元計画から変更をかけるか否かの判断を迫られた際に後戻りがしづらい。</li></ul>

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (2) 学習指導要領を踏まえた技能テスト内容の検討【知識・技能】

状況に応じたボール操作や安定した用具の操作とは、ゲーム中に生じる味方の状況の変化に応じて、次のプレイが行いやすい仲間にボールをつないだり、空いた場所へ移動してボール操作や安定した用具の操作をしたりすることや、相手の返球や守備位置などの状況に応じたボール操作や安定した用具の操作によって、相手の陣地に空間を作り出すために、ボールをつないだり打ち返したりすることである。

〈例示〉

- ・サーブでは、ボールに変化をつけて打つこと。
- ・ボールを相手側のコートへの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつち打ち返すこと。
- ・ボールに回転をかけて打ち出したり、回転に合わせて返球したりすること。
- ・変化のあるサーブに対応して、面を合わせてレシーブすること。
- ・移動を伴うつなぎのボールに対応して、攻撃につなげるための次のプレイしやすい高さや位置にトスを上げること。
- ・仲間と連動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること。
- ・ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。
- ・チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったりつないだり打ち返したりすること。

なぜ、このテストを行うかを明示する。  
サーブやレシーブにおける技能テストを、生徒の状況に合わせて難易度設定する

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (2) 学習指導要領を踏まえた技能テスト内容の検討【知識・技能】

状況に応じたバット操作とは、安定したバット操作に加えて投球のコースの変化や走者の位置などに対応して、ヒットの出やすい空いた場所などにボールを打ち返したりバントをしたりするバット操作のことである。

〈例示〉

- ・身体全体を使ってバットを振りぬくこと。
- ・ボールの高さやコースなどにタイミングを合わせてボールをとらえること。
- ・守備スペースが空いた方向をねらってボールを打ち返すこと。
- ・バントの構えから勢いを弱めたボールをねらった方向へ打つこと。

安定したボール操作とは、捕球では、打球の方向やゴロやフライなどの飛球の種類に対応してボールを捕ること、送球では仲間が捕球しやすいボールを投げること、打球や走者の状況に応じて仲間からの送球を中継したりすること、投球ではねらったコースに投げることなどである。

〈例示〉

- ・打球のバウンドやコースに応じて、タイミングを合わせてボールを捕ること。
- ・塁に入ろうとする味方の動きに合わせて、捕球しやすいボールを投げること。
- ・仲間の送球に対して次の送球をしやすいようにボールを受けること。
- ・投球では、コースや高さをコントロールして投げること。

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (2) 学習指導要領を踏まえた技能テスト内容の検討【知識・技能】

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「例示」から生徒の状況に合わせてレベル設定をすることができる点で容易（悩むことがない）。</li><li>・ 予め技能テスト内容を提示することで、生徒への「意識付け」ができ、それに取り組もうとする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予め授業実施前の生徒の技能レベルと授業実施後の技能レベルを推察する必要があるため、1学年及び着任1年目は課題設定が困難。</li></ul>

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## 体育「思考・判断・表現」の評価

○各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために思考力、判断力、表現力等を身につけているかどうか評価する。

### 指導と評価のポイント

生徒が思考し、判断することができるよにするための知識や技能を検討するとともに、活用させる場面の設定やどのような活動をさせるか、について具体化することが大切。各指導内容や評価規準を整理し、指導内容間のつながりを確認しておくこと。評価規準の実現状況を的確に捉えるため、判断の目安を事前に作成し、それにあてはめる形で評価することも考えられる。

### 評価機会と評価方法

「思考・判断・表現」の評価は、主に学習カード等に記述された内容から評価の材料を得る場合が多いことから、指導からの期間を直かず評価をすることが考えられる。さらに、生徒の発言等の観察評価によって得られた評価の材料を加味して評価の妥当性、信頼性等を高める工夫をすることが考えられる。

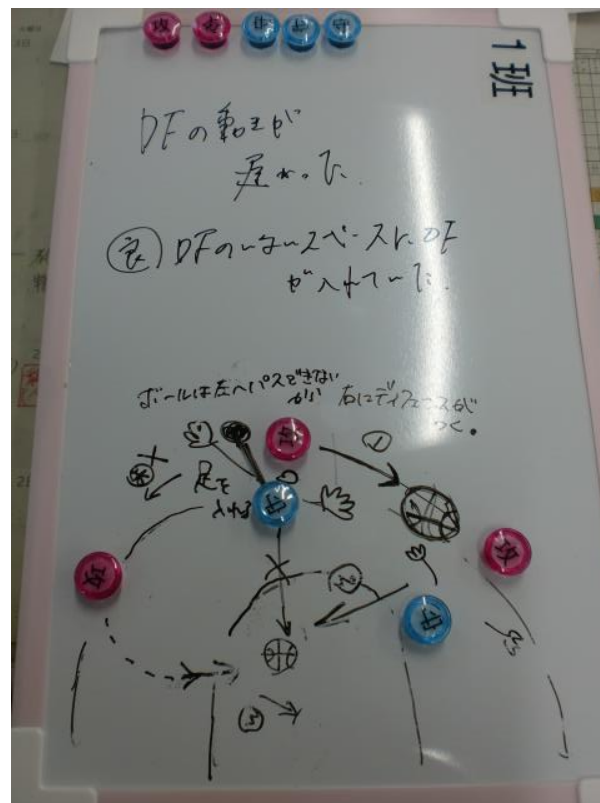
(例)

- ・論述やレポートの作成、グループでの話し合いなど、多様な活動を取り入れる。
- ・ポートフォリオを活用する。

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (3) 視覚的教具を用いたグループ学習【思考・判断・表現】

基本的な知識・技能の学習を経て ⇒ グループ学習・反省・共有



# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (3) 視覚的教具を用いたグループ学習【思考・判断・表現】

基本的な知識・技能の学習を経て ⇒ グループ学習・反省の共有

6班

- ・ボール近くにたくさん集まってしまっていてパス回しがうまく行かなかった。
- ・ボールを持っていない人が周りを見てどこにいればいいのかを考える
- ・頭で考えすぎて行動に移せなかった
- ・相手のピブスの色を確認して相手がパスできる人をディフェンスするように意識できた。
- ・ボールを持っている人と別色のひとは、近くにいる人、遠くで待つ人 のように分けておいたらより良かったと思った。
- ・相手チームがボールを所持している時にディフェンスばかりに集中してしまって、自分たちがボールをゲットしたあとのパスしやすさを考えていなかった。一人くらいはあとに備えてゴール側にいるようにする。
- ・ゴール下での守りがうまくできなかった



# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (3) 視覚的教具を用いたグループ学習【思考・判断・表現】

成 果	課 題
<p>(作戦ボード)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>原始的ではあるが可視化しやすいため、イメージがしやすい。</li></ul>	<p>(作戦ボード)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>知識のある生徒が1人で説明・反省しがちになる。</li></ul>
<p>(GoogleClassroom)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>気兼ねなく全員が打ち込むことができ、瞬時に全員が見ることができる。</li></ul>	<p>(GoogleClassroom)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>多岐に渡る反省があるため、その場での集約及びまとめがしづらい。</li></ul>

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (4) 探究的グループ学習【思考・判断・表現】

試合の反省	グループにおけるゲーム課題を具体的に記入すること																		
↓																			
グループで課題解決のために取り組んだ練習は、																			
↓																			
個人反省	今日のグループ練習における考えや気づき等を具体的に記入すること																		

時期: 2年11月

ゲームにて実践



課題発見・共有



練習・反省・発見



再びゲーム

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (4) 探究的グループ学習【思考・判断・表現】

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・同じグループで実施していくため、それぞれのできない点について共有ができ、自然と教え合う姿が生まれてくる。</li><li>・集団が小さく実施できるため、生徒同士における一人一人に対するアドバイスの量は増える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・課題解決のための知識（練習内容や方法）をある程度得ていなければレベルは落ちる。</li><li>・経験者等が柱となるが、その生徒への負担は大きくなりがち。</li></ul>

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## 体育「主体的に学習に取り組む態度」の評価

### 評価機会と評価方法

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、態度の育成に一定の学習期間が必要となること、主に観察評価によって評価を行うことから、指導後に一定の学習期間及び評価期間を設けるなどのことが考えられる。

(例)

- ・ノートやレポート等における記述
- ・授業中の発言、教師による行動観察
- ・児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いる。

- ①自主性
- ②ルールマナー・フェアプレー
- ③讚え合い・教え合い
- ④責任
- ⑤参加
- ⑥他者理解
- ⑦安全

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (5) 相互評価を通じた協働的な学び【主体的に学習に取り組む態度】

### 陸上競技

### 50MH走 相互チェック表

出来た：○ まあまあ：△ 出来なかった：×

チェック項目 / 氏名				
①腕を振り走れたか				
②遠目から踏み切れたか				
③振り上げ足を真っ直ぐ伸ばせたか				
④上体を下げて跳べたか				
⑤抜き足を横に開けたか				
⑥抜き足の際、低く跳べたか				
⑦抜き足を前に引き出し走りに繋げたか				
⑧スピードに乗り全て3歩か5歩で跳んだか				
計				

○が何個付いたでしょうか??

ICTの活用

相互評価の併用

互いに確認

課題を確認


再度実践

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (5) 相互評価を通じた協働的な学び【主体的に学習に取り組む態度】

### マット運動

達成状況 (○できた・△意識してた・×できない)

		技のポイント	チェック者					
開脚前転	点数	斜め前へ大きく脚を投げ出しスピードをつける						
	5	マットに脚がつく瞬間に一気に開く						
		上体を前に乗り出し膝を伸ばしたまま立つ						
			アドバイスされた内容や個々の課題					
<p>ひざを曲げて 足を投げ 足を開き始めたら、 かかとと同時 マットを強く 足を開いた 腰を高くする 出す すばやく、開ききる に手をつく 押す まま立つ</p>								

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

(5) 相互評価を通じた協働的な学び【主体的に学習に取り組む態度】

単元：創作ダンス

表現できそうなテーマをアンケート実施

そのアンケートを厳選し、班ごとに振り分け表現内容の検討

2人1組で表現内容を吟味し、身体活動を通して模索

即興表現の発表・反省

チームで簡単な作品にまとめる

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

(5) 相互評価を通じた協働的な学び【主体的に学習に取り組む態度】

ダンス(即興表現)

ICTの活用

相互評価(アドバイス・助言)・自己評価

再度、より良い表現方法について模索・検討・実践

再発表



# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

(5) 相互評価を通じた協働的な学び【主体的に学習に取り組む態度】

ダンス(即興表現)



### 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

#### (5) 相互評価を通じた協働的な学び【主体的に学習に取り組む態度】

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒同士で指摘し合うため、教師が指摘するよりも柔らかくなり、お互いに楽しく技能を高めやすい。</li><li>・評価しようとする着眼点に注目するため、自己の確認（比較）にもなる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒同士のやりとりは意外と優しいため、技能レベルが達していなくても、甘くなる傾向がある。また、甘くなるどころか遠慮して何も言わないケースもあるが、それくらいがちょうど良い生徒もいる。</li></ul>

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (6) 課題解決に向けた協働的な学び～事前事後の比較から～

### 【技能及び主体的に学習に取り組む態度】

学びに向かう力、人間性等

観点別学習状況の評価には  
なじまない部分  
(感性、思いやり等)



「主体的に学習に取り組む  
態度」として観点別学習状況  
の評価を通じて見取ることが  
できる部分



個人内評価(児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するもの)等を通じて見取る。

※ 特に感性や思いやり等の児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などについては、積極的に評価し児童生徒に伝えることが重要。

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (6) 課題解決に向けた協働的な学び～事前事後の比較から～

【技能及び主体的に学習に取り組む態度】

●事前事後の測定比較

項目	事前測定				事後測定			
	V字ドリブル壁タッチ (20秒)			回			回	
ゴールしたシュート5本のスピード			秒			秒		
パス受け～レイアップ左右 の正確さとスピード	右	左	タイム	右	左	タイム		
			秒			秒		

＜学習指導要領 例示 入学年次:バスケットボール(女子)＞

- ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすること
- ・守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすること
- ・パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること

# 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

## (6) 課題解決に向けた協働的な学び～事前事後の比較から～

【技能及び主体的に学習に取り組む態度】

V字ドリブル			
前	後	差	MAX
24	25	1	25
11	36	25	36
26	38	12	38
38	50	12	50
23	45	22	45
30	46	16	46
23	42	19	42
42	49	7	49
10	16	6	16
37	46	9	46
33	40	7	40
36	45	9	45
23	43	20	43
30	42	12	42
46	52	6	52

ゴール下5本操			
前	後	差	MIN
22	32	10	22
47	32	-15	32
48	33	-15	33
47	18	-29	18
50	32	-18	32
27	44	17	27
26	24	-2	24
21	19	-2	19
55	24	-31	24
28	32	4	28
22	31	9	22
20	14	-6	14
29	15	-14	15
45	34	-11	34
16	14	-2	14

### 3 生徒自らが課題発見・解決を目指した体育授業

(6) 課題解決に向けた協働的な学び～事前事後の比較から～

【技能及び主体的に学習に取り組む態度】

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 単元における授業1時間目と様々な活動を通じた実施後を数値で見比べ、自己の成長度合いを可視化することができる。</li><li>・ どうしたら記録が上がるのかを意識しなくとも自然と考えるようになる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ もともと技能レベルが高い生徒（部活動生）からすると、あまり面白みを感じない。</li><li>・ 事前事後の差が生徒により様々なため、評価するのに苦慮する。</li></ul>

## 4 ICTを用いた「保健」単元テスト(参考)

本校では、試験的に1学年を対象にGoogleFormを活用した「前期期末単元テスト」を実施した。

Wi-Fiの混雑や動作不具合が起きることも考慮し、「考査」とはせず、授業内で1～4組及び5～8組に分け実施した。

### ＜実施の不具合や課題等＞

- ・ロックをかけた際、アクセスできないと表示された生徒が多数
- ・割り当てられたメールアドレス以外でログインしている生徒はロック画面とならなかった
- ・当日欠席生徒の割り当てを外す手間があった
- ・解答例を飛び越える生徒の加点を目視で確認しなければならなかった

# 4 ICTを用いた「保健」単元テスト(参考)

## 1 学

- ・ P Cに
- ・ このテ
- ・ 範囲は特

masami-m

\* 必須の質

メール \*

返信に  
る

あなたの

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6

3 6 性感染症・エイズに関する次の文について、正しいものには○、\* 5ポイント  
間違っているものには×で答えなさい。

	○	×
一度の性行為で性感染症に感染することはない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
拠点病院ではH I V検査を無料かつ匿名で受けることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
特定の相手としか性行為をしていないなら、感染する恐れはない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
性感染症の多くは適切に治療していれば完治する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
性感染症は放っておくと様々な合併症を起こすことがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

3 7 H I Vに感染すると通常何週間ほどで陽性となるか答えなさい。 1ポイント

- 2週間
- 4週間

る要素について、「主体要因」であればA、「環 \* 5ポイント  
答えなさい。

	A	B
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

「関わる環境づくり」で正しいものには○、間違っ \* 5ポイント  
えなさい。

	○	×
かが すれ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
れ、	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

住民にとつて大切である。



# 4 ICTを用いた「保健」単元テスト(参考)

3 現在生きている人が	4 乳児死亡率とは生後	5 健康寿命とは「	6 長年にわたり入院受	7 冷蔵庫の普及や交通	8 ある集団の年間の死	9 WHO憲章にて、健	10 1984年に設
平均寿命		1 生活動作	がん	食中毒		精神	世界保健機関
平均寿命	1	人間	がん			精神	世界保健機関
平均寿命	生後1年	免疫	がん	脳血管疾患	乳児死亡率		
健康余命	1年	日常生活	結核	循環器	ドレス	スコア	スを選択し力してくだ
平均寿命	一年未満	自分自身	脳血管疾患	結核	年間		
平均余命	生後1年未満	個人	がん	結核	16@hokkaido-c	45 / 80	1 16
平均寿命		日常生活	がん	脳血管疾患	粗死		
平均余命	生後1年未満	1 心	がん	食中毒	03@hokkaido-c	33 / 80	1 3
平均寿命	1年	個人	がん	脳卒中	平均		
平均余命	1年	生活	精神疾患	虚血性心疾患	38@hokkaido-c	47 / 80	1 38
健康寿命	1年	個人	精神疾患	結核	乳児		
平均寿命		1 生活	糖尿病	生活習慣病	39@hokkaido-c	47 / 80	1 39
平均余命	1	生命	がん	食中毒	年間		
健康寿命	1年	2 生活習慣	がん	脳疾患	15@hokkaido-c	34 / 80	1 15
平均寿命	3歳未満	身体	がん	脳血管疾患	27@hokkaido-c	45 / 80	1 27
平均余命		代謝	糖尿病	肺疾患	年間		
		1 個人	うつ病	臓器疾患	25@hokkaido-c	50 / 80	1 25
					特別		
					19@hokkaido-c	47 / 80	1 19
					死亡		
					23@hokkaido-c	51 / 80	1 23

ト ≡ フォームの回答 1 1組 2組 3組 4組 5組 6組 7組

837@hokkaido-c	46 / 80	1	37
12@hokkaido-c	49 / 80	1	12
29@hokkaido-c	48 / 80	1	29
09@hokkaido-c	42 / 80	1	9
10@hokkaido-c	44 / 80	1	10
16@hokkaido-c	45 / 80	1	16
01@hokkaido-c	45 / 80	1	1
08@hokkaido-c	52 / 80	1	8

**タブレットにおける知識を問う:80点**  
**紙面上における思考判断表現を問う:20点**

# 5 まとめ

様々な授業内容及び授業実践の検討

⇒その中のどこを評価するかも視野(計画)に入れる

【指導と評価の一体化】

自分自身の根底として…

評価ありき(評価先行)とならず、  
生徒らがわいわいがやがや【活動的】になるような授業  
を実践する中で、「楽しい！」「うれしい！」「悔しい！」「  
なるほど！」「どうやってやるの？」「どうだった？」な  
ど生徒の活発な姿が多く見ることのできるような授業を  
考えている。

# 様々な視点から生徒自らが 課題発見・解決を目指した体育授業



北海道札幌月寒高等学校 教諭 丸山 真望

令和6年度 第62回北海道高等学校教育研究大会教科部会

会場：北海きたえーる

令和7年1月9日（木）保健体育部会